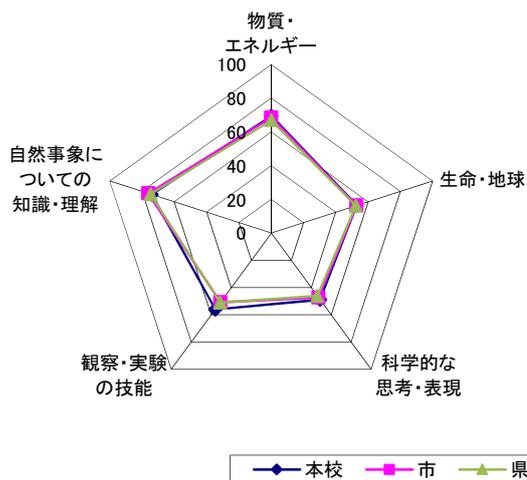


宇都宮市立白沢小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | 物質・エネルギー | 69.4 | 68.6 | 66.9 |
| | 生命・地球 | 52.9 | 52.8 | 52.4 |
| 観点 | 科学的な思考・表現 | 48.9 | 47.4 | 46.2 |
| | 観察・実験の技能 | 56.1 | 50.8 | 51.1 |
| | 自然事象についての知識・理解 | 74.1 | 76.1 | 74.8 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の改善 |
|----------|--|---|
| 物質・エネルギー | <ul style="list-style-type: none"> ●領域の平均正答率は69.4%で、県平均より2.5ポイント高い。 ○電気の通り道に関して、回路をつくる際の導線の安全なつなぎ方についての設問は、県平均より21.2ポイント高い。 ○電気の通り道に関して、豆電球のつなぎ方から箱の中の回路の様子を推測する設問は、県平均より23.1ポイント高い。 ○磁石の性質に関して、異極は引き合い、同極は退け合うことを問う設問は、県平均より7.2ポイント高い。 ●風やゴムの働きに関して、ゴムののびや風の強さと車が走る距離の関係を問う設問は、県平均より9.1ポイント低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●実験器具の扱い方を正しく理解させ、実験器具に触れる機会をできるだけ増やし、正しい使い方の定着を図る。 ●児童が十分に実験できる時間や場を確保したりすることで、実験の技能を高めていく。 ●実験を行う際に、予想をさせてから取り組ませるようにし、結果から分かることを自分の言葉でまとめる力を付けさせる。 |
| 生命・地球 | <ul style="list-style-type: none"> ○領域の平均正答率は52.9%で、県平均より0.5ポイント高い。 ○温度計の適切な操作方法に関する設問は、県平均より6.7ポイント高い。 ○昆虫と植物に関して、昆虫の食べ物やすみかとの関係を考察する設問は、県平均より8.5ポイント高い。 ●植物の成長の順序に関する設問は、県平均より6.6ポイント低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●植物の成長の様子を継続的に観察し、その変化の様子をカードに記録していく。そして、1年間の植物の変化について分かったことを自分の言葉や絵でまとめさせていくことで、自然事象への理解を高めていく。 ●観察や測定の結果から理由を考察し記述する設問に課題が見られるので、実験や観察の結果をグループで考察し、理由を明らかにしながら発表する活動を充実させていく。 ●実験や観察に使う器具や道具の名称をしっかりと覚えさせ、使い方を正しく理解させていく。 |
| | | |